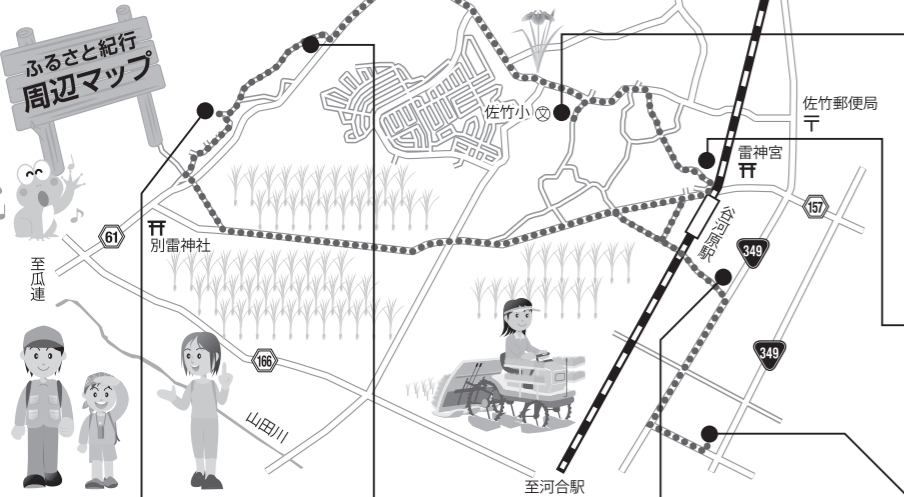


※見学の際はマナーを守り  
近隣の方の迷惑にならないようご注意ください。



●馬坂城跡  
天承元年(1131年)、源昌義が京都からこの地に移り、2年後に築いた館。以後、昌義は郷名の佐竹を名乗った。佐竹3代隆義以降は太田城を居城としている。



●妙福山 佐竹寺  
国指定重要文化財。重厚感のある茅葺き屋根の本堂など見所は多い。創建は寛和元年(985年)と言われる。天文15年(1546年)、佐竹18代隆義が現在地に移転再興した。



●都々逸坊扇歌の碑  
幕末の大衆芸能・都々逸の創始者と言われる都々逸坊扇歌はこの地の出身。昭和32年(1957年)に建立された碑には「藪鶯のわたしじゃとて鳴く音に変わりはあるものか」と刻まれている。



●道の駅たちおた  
3年前に県内13番目の道の駅としてオープン。地域名産の米、オリジナルのぶどう「常陸青龍」、地酒など、常陸太田市が誇る農産品を数多く取りそろえている。



●谷河原町花菖蒲園  
地域の人々の尽力によって整備されている谷河原町の花菖蒲園。6月上旬～下旬は圧巻の風景。例年、最盛期に「鑑賞会」が開催され、音楽イベントなどにぎわう。



●西光寺  
親鸞聖人の弟子・唯円が鳥嶋村に本泉寺として創建。寛永3年(1626年)に徳川頼房の命で現在地に移転し、西光寺と改めた。「鬼人成仏証拠の角」の寺宝がある。

Vol.86

駅からのふるさと紀行 JR水郡線

# 谷河原駅

か かわ い ひ たち お お た  
河 合 常 陸 太 田

●次回は6月23日 ※イラストはイメージです。  
「鹿島大野駅」を掲載予定です。



●電神太吊橋  
常陸太田市のアクティビティとして注目を集める「電神カヌー」。通年開催で電神峡の自然を満喫できると好評だ。



いきいき茨城ゆめ国体2019  
を応援しております。

働く人と、世界を走る。

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)  
https://www.ibaraki-isuzu.co.jp

広告



●1面1線の無人駅。ホームには屋根付きのベンチが置かれている



常陸太田市公式  
マスコットキャラクター  
じょうつるさん  
& こじょうつる



●ホームはバリアフリー構造



●駅利用者のための駐車場

美田に佇む小さな駅から  
佐竹氏、徳川家ゆかりの地を訪ねる

JR水郡線で常陸太田駅に向かう際、河合駅を過ぎると左右に広大な田園風景が広がる。美味しい米の産地・常陸太田。車両がゆつくりと減速し、停車したところが谷河原駅だ。昭和10年に佐竹駅として開業。16年に営業を休止したが、29年に現在の駅名で営業を再開した。

駅があるのは常陸太田市谷河原町。駅の北西は学校など「佐竹」の名を冠する施設が多い。佐竹の名称は常陸国を統した武將・佐竹氏に由来する。駅に隣接する磯部町は三味線の伴奏に合わせ、七・七七・五調で歌う都々逸を大成させた都々逸坊扇歌が生まれた場所だ。

自然と歴史・文化が調和する谷河原駅周辺。苗が成長し、田園を青く染める初夏、美田を眺めながら駅から西に向かえば、佐竹氏や徳川家ゆかりの名所を訪ねることができる。

## ● 散策コース ●

駅のすぐ北側には真宗大谷派のお寺・西光寺があり、趣ある山門は見もの。6月の散策なら、駅の北西にある佐竹小学校に隣接する菖蒲園を訪ねたい。花菖蒲が美しく咲き誇っている。

県道日立笠間線の沿線は佐竹寺や馬坂城跡など、歴史資産が多い。佐竹寺はその名の通り佐竹氏ゆかりの寺。元禄年間には徳川光圀の社寺改革で大改造が施された。本尊の十一面観音像は安産や厄除けのご利益があるとされている。周辺には佐竹氏や徳川家ゆかりの史跡が多い。馬坂城は佐竹氏の祖とされる昌義が

築いた城郭で、3代隆義が太田城に入ってから4代秀義の子・義清が入って稲木氏を名乗った。佐竹氏の秋田移封に伴って廃城となり、現在は石碑が立っている。歴史を楽しんだら、谷河原の美田を眺めながら駅方面に戻り、線路を越えて国道349号に出ると都々逸の開祖・都々逸坊扇歌の碑がある。そこから南下すると、常陸太田市の名産品がズラリと並ぶ道の駅ひたちおたがあるので、ぜひ立ち寄りたい。

また、常陸太田市といえば「常陸秋そば」が有名。道の駅はもちろん、市内にはたくさんのそば店があるので、ぜひ、味わってほしい。



常陸秋そば  
【写真提供：常陸太田市】

●お問い合わせ / 常陸太田市商工観光部観光振興課 ☎0294(72)8071

●企画・制作 / 読売茨城広告社 ☎029(244)5555